

一般質問（個人質問） 通告書

受 付 月 日
午 前 時 分
後

平成27年12月 2日

笠岡市議会議長 殿

笠岡市議会議員 樋之津 倫子 ㊟

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨 (なるべく具体的に記入してください。)	答弁を 求める者
<p>1 子供の医療費助成制度、高校卒業までの拡充を願って</p>	<p>子供の医療費の窓口負担を無料にする助成制度が全国の自治体に広がっています。子供の健やかな成長を願う世論と運動の力で充実させてきました。子育て世帯を応援する医療費助成は、少子化や地方の人口減少に歯止めをかける重要な制度です。先日の新聞報道された奈義町の出生率向上がその証です。さらなる制度の充実を求める市民の声にこたえること、国の責任として子供の医療費無料化を制度化することは今やこの運動の大きな2本の柱です。</p> <p>笠岡市でも人口増対策、子育て施策を打ち出しており、総合戦略の中にも位置付けていますが、奈義町に見られるように、人口増対策として試され済みの施策です。さらなる充実を求めます。</p> <p>① 国のペナルティーの現状について尋ねます。 ② 高校卒業までの引き上げを求めます。 ③ ペナルティをなくし国の制度として行うよう国に強力に働きかけることを求めます。</p>	<p>市長</p>
<p>2 学校を地域活性化のとりでに</p>	<p>学校規模適正化計画は、地域要望により現在一時保留されており、地域の施策を待っているところだと当局が言われていました。</p> <p>小さくても輝く地域づくりは、やがて小さくても輝く未来の自治体づくりにつながります。</p> <p>学校を地域活性化のとりでとして位置づけ、学校と子供たちを取り巻く社会が有機的に結び付けば、地域のきずなは深まり、人格形成にも大きく寄与することができるでしょう。</p> <p>① 対象地域の学校給食を自校方式に切り替え、人材、食材を地域で賄う。もって食育のモデル校とするよう求めます。 ② 給食費の全額補助を求めます。</p>	<p>教育長並びに市長</p>